



川崎大師ロータリークラブ 週報

会長 遠藤 悦弘
副会長 林 鶴
副会長 鈴木 昇二
幹事 猪狩 佳亮
SAA 星野 祐治

例会日:毎週水曜日 PM12:30~
例会場:大本山川崎大師平間寺信徒会館
事務局:〒210-0812 神奈川県川崎市川崎区東門前1-15-10 カーサ石井1F
Tel:044-277-7569 Fax:044-288-8550
URL <http://www.kawasakidaishi-rc.com/> E-mail:daisi-rc@eagle.ocn.ne.jp

第2223回（本年度 第33回）例会 平成31年4月10日 一晴一

- 司 会 星野祐治 SAA
- 点 鐘 遠藤悦弘会長
- 斉 唱 「奉仕の理想」 八尋匡彦ソングリーダー



ゲスト紹介 遠藤悦弘会長
次年度地区研修・協議会委員長
大野肅英様（横浜港北RC）

会長報告 遠藤悦弘会長

①ロータリー米山奨学会より、牛山裕子会員へカウンセラーの委嘱状が届きました。お渡ししたいと思います。



②米山梅吉記念館全国100円募金運動の募金箱をまわします。

③川崎大師薪能実行委員会事務局より、チケット販売のご連絡をいただきました。ポスターを受付に貼り出しています。チケット購入案内を回覧しますので、ご希望の方はご記入ください。

④2018-19年度青少年交換学生 須山なつみさんより3月の月例レポートが届きました。回覧致しますので是非お読みください。

⑤先月卓話に来ていただきました田中家 平塚あけみさんよりお礼状が届きましたので回覧をさせていただきます。田中家には年度末の移動例会でおじゃますることになっております。

幹事報告 猪狩佳亮幹事



①回覧 4/15（月）桜ポスター撤去作業出欠、4/23（火）6時地区研修・協議会反省会出欠、5/8（水）6時宮山会員お祝い会出欠、6/12（水）移動例会（田中家）出欠、春季例祭の参加申込書、他クラブの例会変更 他クラブ週報

②ポスティング 第10回理事会議事録、PETS資料

③第57回ロータリアン展のご案内のチラシが届きました。

4月19日～24日 KN日本大通りビル1F「ギャラリーパリ」にて開催。皆様のお席に置かせていただきましたので、ご覧下さい。

④轟ガバナーエレクトからの大師巻きを机の上に置いてあります。

出席報告

伊藤佳子出席委員長

	会員数	対象者	出席	欠席	出席率
2223回	47	40	23	17	57.50%
2221回	47	40	17	13	67.50%
前々回の修正	メイクアップ	5名	修正出席率	80.00%	

メイクアップ

野澤隆幸会員、鈴木昇二会員、水口 衛会員
秦 琢二会員、坂東保則会員



3月ホームクラブ100%

遠藤悦弘会長、炭谷博功会員、中村眞治会員
竹中裕彦会員、横山俊夫会員、伊藤佳子会員
須山文夫会員、牛山裕子会長、猪狩佳亮会員
松井昭三会員、磯田 稔会員、星野祐治会員
八尋匡彦会員、布川 浩会員

3月の出席順位

300% 牛山裕子会員
233% 須山文夫会員
200% 遠藤悦弘会員、竹中裕彦会員、横山俊夫会員
167% 鈴木昇二会員、秦 琢二会員、星野祐治会員
布川浩会員
133% 中村眞治会員、岩井茂次会員、伊藤佳子会員
船木幸雄会員、猪狩佳亮会員、磯田 稔会員
八尋匡彦会員

スマイルレポート（ニコニコボックス）林 鶴副会長



横浜港北RC 大野肅英様

先日の研修・協議会では横山委員長より、いろいろ教えて頂きました。本日は引継ぎ事項の確認にまいりました。

須山文夫会員

本日はPETS報告致します。まだまだ全てを理解しておりませんが、よろしくお願ひします。

猪狩佳亮幹事

①次年度 地区研修協議会 大野委員長ようこそ大師へお越し下さいました。

②月曜日に、下の娘が幼稚園に入園しました。新しい環境に慣れることができるか、親としては心配ばかり。

遠藤悦弘会長

ここ数週間寒暖の差がはげしく皆様お体にお気を付け戴きますようご自愛下さい。

本日のニコニコのテーマ

「須山エレクト、Presidents-Elect Training Seminar（略してPETS）のご報告、宜しくお願ひ致します。」

秦 琢二会員、松井昭三会員、船木幸雄会員
中村眞治会員、星野祐治会員、伊藤佳子会員
牛山裕子会員、布川 浩会員、岩井茂次会員
出井宏樹会員、八尋匡彦会員、林 鶴会員
内田省治会員、工藤和弘会員 合計29,000円

委員会報告

●2019-20年度地区研修・協議会

実行委員長 横山俊夫委員長

地区研修・協議会の反省会（4月23日(火)）の出欠席。締め切りすぎていますのでお早目をお願いします。



●次年度地区研修・協議会委員長

横浜港北RC 大野肅英様



今年の会長から、研修協議会の委員長は挨拶だけすればいいんだといわれ何となく引き受けてしまいました。いろいろきいてみますとなかなか大変そうです。ポジティブに考えられないように役割を与えて下さったのかなと考えております。この川崎大師には米山の全国大会の時に来たことがあります。年始にはよく川崎大師に来ていましたが7~8年前から当クラブの熊野神社に行くようになりちょっとご無沙汰しています。歯科医としていろいろな本を書いていますので歯の神様を書きますが、この信徒会館の真ん前に三途川の婆などいて首から上の病気やお化粧関係の神様となっています。本来浅草の浅草寺にあった時には歯の神様でした。垂れ幕をあげて写真を

とったことがあります。3枚ほどにまとめて今日横山委員長にチェックしていただいたのですが、私たちの会員はまだ人ごとのように全然感じていません。第1弾として次回例会にプリントしたものを渡して目で見てもらう。モチベーションを上げるために今日チェックしていただいた内容のものを配ってぼつぼつ盛り上げていきたいと思えます。またわからないことは横山委員長に説明に来ていただくことになるかもしれませんが今後ともよろしくをお願いします。

●会員増強委員会 横山俊夫委員長

本日例会終了後に第5回会員増強委員会を開催致します。委員会メンバー、執行部役員はお残り下さい。

卓話

PETS報告 須山文夫会長エレクト卓話

3月18日ソシア21で行われましたPETSです。会長エレクトトレーニングセミナーで勉強したことをご報告したいと思います。皆様ご存知の方ばかりなのでそれはといわれることもあるかとは思いますがどうかご容赦ください。

資料をお配りしましたがこちらは当日配られた資料の抜粋版です。RI会長テーマ 本来ならもっと厚いものを配られていますがRI会長と地区方針ということで轟ガバナーエレクトから配布されたものをくばっています。これは裏表で5ページほどあり最後に地区カレンダーの抜粋版、当クラブに関するものです。

大きいものとしてはガバナー補佐公式訪問や轟ガバナーの公式訪問、地区大会最初にRI会長のテーマ。真ん中に地球があり人がみな手を繋いでいるという、地球にみなついているというとてもわかりやすいテーマです。「ロータリーは世界をつなぐ」というまさにそのままのテーマとロゴマークです。

次年度になりましたらこのテーマ看板がこちらになりますのでどんどん親しみが湧いてくるのではないかと思います。

RI会長テーマと地区方針について

来年度のRI会長はマーク・ダニエル・マローニーさん（米国アラバマ州・ジケーターRC）我々ロータリーは世界を繋いで奉仕をしどンドン良い世界にしていこうという思いがあるのかとおもわれます。

1. ロータリーを成長させること
2. 奉仕活動やプロジェクトのインパクトを成長させること。今年のPETSないし地区研修・協議会 会長部門に



においてインパクトという言葉が非常に使われています。大きなことをいうとこれは直接はいいませんがロータリーの存在をアピールしていくことと、今までロータリーは宣伝が下手だと某クラブ、別組織の方々は宣伝が上手で名前もよく知られているけれど、ロータリーは今まであまり名前を出さなという経緯がありました。そういうこともありロータリーの名前の浸透性が低いということを反省してなるべくならどんどん宣伝をしていこうではないか。というところです。

3. 会員を増やすこと、お互いの違いを超え深く、意義あるカタチで⇒「人々は、つながる」⇒後で会員増強にもつながってきますが、当地区は増強を非常に良くない。20年くらい前にガバナーエレクトが入会されたころは地区に約3000名会員がいらっしやったと、今の状況は約2000名です。入れ替わり立ち代わりはございますがその中でも1000人の仲間が減っている。これは由々しき事態ではないでしょうかと申し上げておりました。

4. ロータリーがなければ出会うことがなかった人々私もこれに関してはこのロータリーの場にこなればこの皆様とは出会うことがなく今でもこのように奉仕をさせていただきありがたいことではないかと

5. 職業上の機会

会員を通じて異業種の集まりですから職業のやりとりが発生してくると思います

6. 私たちの支援を必要としている人たち⇒「つながる」をもたらしてくれる

7. 多様な会員から成る会員増強委員会を設立する
会員増強委員会は地区にも当クラブにもございます。どんどん進めていきたいと思っております。

8. 現ロータリークラブとローターアクトクラブを活性化

非常に難しい問題です。戦略委員会の話を後でさせていただきます。

9. ユニークなネットワークを駆使するロータリーは、人類の素晴らしい多様とつながり、共通の目的に於いて未永く続く「深い絆」

10. 世界は今まで以上に分断される時代に、世界中の会員をつなぐのは、ロータリー

「国連」

2020年 国連は75周年、ロータリーは、国連憲章につながった1945年サンフランシスコ会議で相談役を務めた米国招聘された42組の組織の1つで、国連はロータリーに対し、非政府組織の相談役に対して最高の立場を認めている。2019-20年度世界中で会長主催会議 開催し、焦点は「国連との関係」。詳細は7月発表予定です。

日本ロータリーの底流に流れている考え方は、「革新性と柔軟性」⇔「不易流行」即ち、変えて良い事、変えてはいけない事と言う事です。

「ロータリーの目的」⇔「中核的価値観」⇒奉仕・親睦・多様性・高潔性・リーダーシップ。

ロータリーでの体験の中核にあるのが、「つながり」だから、私たちはロータリーに入会し、ロータリーに留まるのです。ロータリーを成長させる方法も、「つながり」に有ります。そして、これが2019-20年度のテーマです。「ロータリーは世界をつなぐ」

次年度理事・役員の名前を見ていただくと私はまだ来年度私は47歳の若輩者が会長をさせていただきます。幹事にはクラブ最年少の八尋匡彦会員を選任させていただきました。経験のある方も理事メンバーに入っていますが入会年度の浅いメンバーを、ロータリーを運営するにあたりどんどん学んでいただきたい。その後ろにパスト会長、ベテラン会員さんがついていただき今までのロータリーはこうだったよと、変えていいもの、時代に即して変えなければいけないもの、ロータリーの流れ、源流から流れにそって変えてはいけないものがあります。それを大師ロータリーの中で実践させていただきたいと考えて人選をさせていただきました。

ロータリーの世界の中でもこういうことを考えなければいけない時期にきているのかなと考える次第です

轟ガバナーエレクトのガバナーテーマです。

「原点を忘れずに挑戦」ということです。

DLP（地区リーダーシッププラン）とCLP（クラブリーダーシッププラン）の導入を皆様にご理解いただきながらすすめるようすることはRI理事会全体で全世界おそくとも2002年～2003年度までにDLPを採用するよう義務づけました。

轟エレクトが入会した1993年時点では当地区は3,155名でしたが、現在は1月末時点で2,063名内女性は193名で

す。1,100名近くの会員が残念ながらころざし半ばで退会してしまいました。誠に残念です。

当地区において15年間一部のクラブでCLP導入を図りましたが、地区全体の流れには至りませんでした。このままでは会員の減少を防ぐことが出来ず、この度金子ガバナーのご英断で我が地区全体として導入に舵を切りました。

DLP、CLPについては下に書いてございます。後ほどお読みいただければと思います。流れとしては先ほどいったように1,000名以上の方の会員が減少してしまったことについて、今後クラブでCLPという手法を使いながらどのようにクラブをよくしていくかということを経子ガバナー、来年度の轟エレクトからご指示がございました。

クラブの長期計画です

大なり小なり将来の展望した中期計画、或は長期計画を作成しそれに基づいた組織運営を行っています。各ロータリークラブで、CLPを検討する際の最初の検討課題として取り上げるべき事項は「クラブの長期計画」の作成です。

今まで各クラブでは継続的な中・長期計画に基づいた運営方針というよりも、一般的には各年度の単年度目標に基づいたクラブ運営が行われてきました。その長期計画の中に優先活動項目、使命、ビジョン、標語、中核となる価値観といったような項目が含まれています。RIの長期計画は今後3年ないし5年間にわたりクラブの長期計画を作成するように奨励しております。

クラブ目標は各クラブが作成し、毎週の例会で会員全員が合唱するように奨励されています。参考にさせていただければ幸いです。CLPとクラブ細則は毎年見直しも良いということになっておりますので、クラブの長期計画や目標も含めて情勢の変化に応じて柔軟に対応できます。

CLPと五大奉仕活動

RIが各クラブへCLPを推奨した際に、CLPは従来の五大奉仕活動を軽視しているのではないかとの意見が多々ありました。CLPに関するRIの最初の紹介冊子は、「CLPはクラブが各奉仕部門（五大奉仕部門）に更に努力を傾け、ロータリーの綱領に到達することが出来るようにするためのものなのです」と記述されています。また、効果的なクラブとしてクラブ組織の土台には「五大奉仕部門」が示されています。

規定審議会及びRI理事会の決議により、「ロータリーの五大奉仕部門は、ロータリークラブの活動の哲学のおよび実際の基準である」という条項がロータリークラブ定款第5条と、推奨クラブ細則第8条に改めて挿入されることとなり、CLPは五大奉仕活動軽視という見方は誤解であったことがわかります。

2019-20年度地区活動目標

（具体的には別紙「地区方針」参照）

RI会長テーマと地区方針を踏まえ、各クラブとガバナー補佐・地区委員会が密に連携し、「世界で地域で、そして自分自身の中で持続可能な良い変化を生む為に、人々が手を取り合って行動する世界」を目指して活動してまいります。

ここで先ほどの話に戻りますが、RI及び我が地区の緊急課題は会員拡大・増強を如何にして行うかという点です。そこで皆さんに提案ですが、今までのように各クラブさんが現行の会費とルールで、若手・女性会員の増強・拡大を図ろうとしても難しいと思います。そこで、従来のルールを取り払い、例えば、スカイプ・LINE・SNS等の機能を活用した会員獲得等、新しい考え方で発想転換してみませんか？ガバナー補佐はじめ地区役員そして第2590地区会員のアイデアを持ち寄ろうではありませんか。船は、港に居れば安全だが、それでは船の機能は果たさない！

波高い危険な海にご一緒に出ませんか！ワクワクする冒険に出合えるように！！

何もしなければ何もしない1年が過ぎていきます。それが楽しいロータリーかは別として。

ガバナーテーマ「原点を忘れずに挑戦」

～入りて学び、出でて奉仕せよを実践しよう～

1. 改革の波を加速させ多様性のあるクラブづくりを目指しましょう
2. 会員増強と会員維持に努めクラブを強化しましょう
3. 研修の意味を改めて考え、取り組んでいきましょう
4. ロータリーをよりよく知ってもらい好循環を実現しましょう
5. ロータリー財団プログラムの意義を理解し、寄付に協力しましょう
 年次基金寄付：一人当たり150USドル以上
 去年まで120ドル以上といわれていました
 ポリオプラスへの寄付：一人当たり30USドル以上
 去年は50USドル以上といわれていました
 竹中さんに教えて頂きました。ロータリー財団の寄付をしたものは3年後に戻ってきます。そういうしくみを利用してこちらの年次基金寄付を増額してポリオ・プラスを減らしましょうということです。3年後に活動できる、地区に戻ってくる資金が少し多めに戻ってくるということでご理解をいただければと思います。
6. ロータリー米山記念奨学事業の意義を理解し、寄付に協力しましょう

普通寄付として1人当たり5000円、特別寄付として20000円以上

合計1人25000円以上

毎年お願いしていることと思いますが次年度もよろしくをお願いします。

来年度はカウンセラーが牛山さんに委嘱されました。また4月を過ぎると来られますよね。曹実（そうじつ）さんという昭和音楽大学でピアノを専攻されている方が来ます。こういった事業、今までのキムさん、や色々な方々が米山の関係でお世話をさせて頂きました。その方たちは立派なことをされ勉強されています。そういう意義をご理解頂き寄付の方もお願いしたいと思います。また米山奨学生と関わるというのがあまりないのかもしれませんが、そういった関わりあいをもてる場をつくりたいなと思っております。

7. マイロータリーに登録し、活用しましょう。

8. ロータリー賞に挑戦しましょう。

2019-20年度 地区カレンダー（案・抜粋）
地区カレンダー若干変わることはあります。

2019年

7月24日牛山第1グループガバナー補佐公式訪問

8月7日 轟ガバナー公式訪問

10月25日（金）地区大会（1日目）

RI会長代理歓迎晩餐会

（当クラブがコ・ホストクラブ予定）

10月26日（土）地区大会（2日目）

これでPETS報告を終わらせていただきます。

総評 遠藤悦弘会長

PETSが終わるといよいよ次年度が始まるのかなと思います。これからウォーミングアップをしていただいて7月からはダッシュできるような、我々としても極力執行部に協力をしたいなと思います。

皆さんもよろしくをお願いします。

今日はありがとうございました。

●閉会宣言並びに点鐘 遠藤悦弘会長

2019年4月10日（水） 本日のお花

お花：てまり草（そう）

花言葉：「才能」

原産地：地中海・ヨーロッパ原産

なでしこの花びらがなく、ガクのみのお花です。

ずーっと緑のまま、枯れていきます。



日時：平成31年4月17日（水）

通常例会です。

イニシエーションスピーチ

牛山裕子会員



布川 浩／秦 琢二／船山 佳則／森田 尊久

3月度 出席報告

氏名	例会数	ホームクラブ	メアップ	出席率	ホームクラブ100%	備考	氏名	例会数	ホームクラブ	メアップ	出席率	ホームクラブ100%	備考
布川 二三夫	3	0	0	免3回			永松 慎太郎	3	0	0	0		
長 島 亨	3	0	0	免3回			大崎 克之	3	1	1	67		
遠藤 悦弘	3	3	3	200	○		猪狩 佳亮	3	3	1	133	○	
鈴木 幹久	3	0	0	免3回			松井 昭三	3	3	0	100	○	
宮山 光男	3	2	0	67			磯田 稔	3	3	1	133	○	
野沢 隆幸	3	2	1	100			船山 佳則	3	2	0	67		
林 鶴	3	2	1	100			星野 祐治	3	3	2	167	○	
安藤 賢一	3	0	0	免3回			八尋 匡彦	3	3	1	133	○	
嶋崎 嘉夫	3	1	0	33			森田 尊久	3	0	0	0		
炭谷 博功	3	3	0	100	○		布川 浩	3	3	2	167	○	
中村 眞治	3	3	1	133	○		須藤 宏	3	1	0	33		
細谷 重徳	3	1	0	33			田中 伸介	3	0	0	0		
竹中 裕彦	3	3	3	200	○		工藤 和弘	3	2	1	100		
久保 博和	3	0	0	0									
大藪 善一	3	0	1	免2回									
横山 俊夫	3	3	3	200	○								
石渡 利治	3	2	1	100									
渡辺 富士夫	3	2	1	100									
布野 眞治	3	0	0	免3回									
清水 宏明	3	0	0	免3回									
矢野 清久	3	0	0	0									
岩井 茂次	3	2	2	133									
鈴木 昇二	3	2	3	167									
伊藤 佳子	3	3	1	133	○								
水口 衛	3	1	1	67									
須山 文夫	3	3	4	233	○								
秦 琢二	3	2	3	167									
小林 勇次	3	1	2	100									
牛山 裕子	3	3	6	300	○								
坂東 保則	3	2	1	100									
船木 幸雄	3	2	2	133									
沼田 直輝	3	1	2	100									
出井 宏樹	3	2	1	100									
内田 省治	3	1	2	100									
							出席率	74.47%					

ミャンマー学友会総会報告 — 新体制が始動 —



ミャンマー山学友会総会が3月3日、ヤンゴン市内のホテルで開催され、学友とゲストを合わせて15人が出席しました。

今回の総会で役員改選が行われ、初代会長を務めたタンシンナインさんに代わり、第2代会長としてケイカイン ウィントウラさん (2010-11/京都西RC)、副会長にソータイさん (2012-13/いわき平RC)、ほか5人の理事が選任されました。この4月から新役員での体制がスタートします。新会長のケイカインさんは、「情報交換を良くし、皆で力を合わせて、学友誰もが参加しやすい、温かい学友会を目指します」と、抱負を語っています。

絆 in モンゴルに参加しよう！ — 登録は4/30迄 —

前号でお知らせしたとおり、2年に1度、学友会が協同で開催する米山ファミリーの集いが7月27日(土)～28日(日)の2日間におわり今回はウランボルで開催されました。3月中旬の登録開始から大きな反響をいただき、4月10日時点で、日本から160人を超えるロタリアン、学友が登録しています。また、台湾学友会から40人超、ベトナムや中国など海外在住の学友も続々と参加予定です。



第1回「感謝 in 熊本」から1回を受け、2年かけて準備してまいりました。モンゴル学友会一丸となって、皆様を歓迎する準備を整えています。多くの皆様と7月、モンゴルでお会いできることを楽しみにしています！



申込書など詳細は右QRコードを読み取るか、当会HPのトップページ>News & Topics [!] 重要なお知らせをご覧ください

E-mail: highlight@rotary-yoneyama.or.jp URL: http://www.rotary-yoneyama.or.jp/ 編集担当: 野津(のづ)・峯(みね)

2019.4.12

Vol.229

ハイライトよねやま

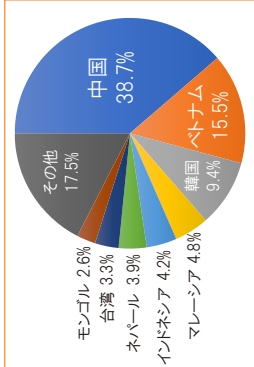
【訃報】名誉理事長 板橋敏雄氏 逝去



当会各名誉理事長(前理事長)の板橋敏雄氏が、3月23日にご逝去されました。享年89(満88歳)でした。板橋氏は1962年に足利東ロータリークラブに入会され、1987-88年度第255地区(栃木・茨城)ガバナー、1995・96年度国際ロータリー研修リーダー、2001-03年度国際ロータリー理事など、ロータリーにおいて要職を歴任されました。当会においては、2003-07年度監事、また、2007年8月からは7年間にわたり第5代理事長をお祈り申し上げます。

2019 学年度新規奨学生オリエンテーション開始

2019 学年度の奨学生は昨年度より17人増の871人となりました。新規採用者641人、継続者230人です(4月10日現在)。国・地域別に見ると、中国38.7%、ベトナム15.5%、韓国9.4%、マレーシア4.8%、インドネシア4.2%の順です。プログラム別では、学部・修士・博士課程奨学金が812人(学部:321人、修士:268人、博士:223人)、地区奨励奨学金17人、クラブ支援奨学金9人、海外学友会推



寄付金速報 — 2018-19 年度も残り3カ月 —

3月までの寄付金は、前年同期と比べて0.6%減(普通寄付金:0.07%減、特別寄付金:0.9%減)、約730万円の減少となりました。普通寄付金、特別寄付金ともに前年同期比から減少しているものの、過去5年間の平均寄附額からは上回っており、堅調を維持しています。今年度も残り3カ月を切りました。今後は特別寄付金が主な寄付金収入となります。引き続きご協力賜りますようお願い申し上げます。